・関ムンダ上宮グラマン配岡

イ機関トアール上空双段一機能医 ラバロル上宮ビーリー機能破、 ない。ムンダ上空四機能図 ラパウル上会じ

コロンパンガラ

陸鷲、アキャブ上空に邀撃

を向け、重慶政権スポークスマン は七日『英からの最も記ましい後

機を撃墜破

ムンダ上空景略機 ムンダ上窓グラマ ヤブに灰黴・わが鱧瓢然部隊は影響よくこれを激撃・敵・ソーケー・ジ・大機・を撃し撃・地・上火器・によりまた・敵戦・闘機・惨略を保ちずくもるが、五日年後小職にも前後大国にわたってハリケーン三十九、プレンバイム十四 の威勢合計五十三巻をもつてアキ 【OO基地八日同盟】ビルマ寒遠の場も空しく各所に既北を繰返へす糸英重は苦しまざれにビルマ戦内にグリラ的貿易を行び、働かに

機を確實に撃墜した。

瞥日の駁斷は正年頃より夕巡に及び骸機は第一回ハリケーン六、第二回ハリケー プレンハイムボ、第五回ハリケーン・一、プレンハイムバ、第木回ハリケ

シニ、第三回ハリ

常山脈による暦然奥運中六郎の討

佛國内體制確立へ **弾飛など多数** 討伐戰々果

これを遺滅し廿三日には

大便その他を招致、何事が協議を 日午前宿舎ホテル・マチニオンに

駅氏は政殿開路の一致を目指し図

【大原八日间盟】

遺屍捕虜千九百

る出し方を呼びかけてゐる

みこと

配六機を

極密したもので、この日わが

方自線二機の

等い

を伝

を出した

説|巓印戡定して一周年

問題司令部盤限プレスマン

今なほ配便に新なる國である。 局を決定的のものとした功は、

米英の解脳により、既に二年

に且る開方植民經營の夢は、和 使我服闘機隊は毎回廿数分にわたり放戦を展開、

職が富强であった間こそ、 もあつたのであるが、既

たと見ることが出來る。 途へと戦落せぜるを得なくなっ によって、

山かに自ら

致亡の

一

東ざられ、

帝國を

駆とすること

> わが軍に 抗し來った 結果とな らも、米英豪軍のために第一級

> > 禁相が奢しく闘って來たこ

領有されるに至り、日本こそ却

いふぼでもない。徐々に米領化 かくて大東亞職争の規模乃至

即ち、殿印重は自らの殿印を

れてあるではないか。しかもそ つたことは、ことにも环間自身の無智と米英の思報さが必然さ

印度が島軍の前に全裸の姿 度洋を除てるとはいひなが

を迎へるに盛し、われ等はます

内に入つたことは勿論、またしつくある臺洲が、わが攻撃

太本營發表 ・ 我方の損害 - 騙逐艦二隻沈沒、輸送船五隻沈沒、飛行機七機自爆および未購選、戦果 - 飛行機一一三機撃墜、同一一機撃破、潜水艦四隻撃沈 日廿四機擊墜破 熾烈、彼我の補給戰 島方面において帝國陸海軍部隊の收めたる戦果並に我方の損害左の如し 鑑四隻擊沈 丁二京 育界 明治開宮に、次いで同十一段第四年 日本 本書 政際長の近世長八を町立し際間の 単 本書 政際長の近世長八を町立し際間の

)昭和十八年度一般強質家ならび

といふことが少いやうな感があっ

東京都制案 に関する必負品報告は延期すると

め戦争下の生産力優元その他級

、すのに力を集中して建設的の監験「レて國家の副家を識ずるといふ塚」

殿時下において統制の強化され 成つものと確信して疑はない の議會の機室が燦然として光師 章月 (平太州城京 (全) 所行教

介部密総日の八日午前九時四十分 勝祈願參拜

東條首相は

肚

肚との

問答

四 田 談長議院衆

ぶところである、やくもずれば失

現はれである

增谷文雄著

議會展望

國家の將來に至大の關係

な戦時行政特別法案、既時下治安

我にもまた尊き犠牲

の観彩は全く流人の事物語であ

八日のロンドンラジオは英空団が

四海虹省筋すら、に
がくしく

単航空隊の戦果破裂が全く出

「リスポン八日同盟」英空軍は最

とを認めてゐる、しかし米

五機、パツワアロー一機瞬墜、 未暗器、ルツラ

を厳嘖に伸張してゐる、しかして

部の戦況發表

逐二一隻、輸送船五隻沈後、飛行 例の出鱈目

くにジャワを観定し新ジャワ

戦闘日誌 目の配況公報を發表し、反個 「プエノスアイレス八日同盟」ソ のたり左の感明を競裘し、現地を高指揮官はジャワ駅定一周年

り原製を加へた ドン來電、獨空築は七日夜再びロ 「ストックホルム七日國盟」ロン 獨軍英京空襲 心として微多の名所古蹟を読る。 ジエノア廢墟 で宣爆により中世紀世界海道の中 【ローマ七日同盟】英紀軍の相次

政戦兩略一致へ

上代秀歌鑑賞

上版四十〇頁

幸田露伴序・小林榮子著

ス議長赤軍元帥に任命

意聖業完

遂

戦刑法案可決 衆院本會議

が、この結果スターリン議長は名 質ともに赤軍最高司令官として全 赤重元脈に任命された国強表した

けふの兩院

衆議院 內閣辭令八日

經濟學

知進社書店

てんな病氣の方へ 東朝上汉 影

大觀堂蘇照名菩選

.

棚替東京四六八一雪

略、アンポイナ島アンボン上空ビ サー日 ムンダ上空六個 上空ビー25一機、ビー26一機

ノロモン概略およびニューギニヤ

【鷹東八日同盟】最近からゆる間 ビルマ奪回の夢を蒸し返す

するものであるが、同時

機械工業へドブク

國総判の別力に關する法案ほか二一へたのみでこれを可決、貴族院に

【東京電話】製罐房において終始 | 四十日をもつて金融家を碾了、九 | 情提出の金融家を確了、 すなはら 製造院は先職業 五十件 の全費一致の形をとり決議職等の 重慶 米英へ泣訴

^{準機械工化法}實習指針

全議案を議て

意院十一日より自然休會

な酸砂の販売を製造せるるべから し含度ます(一端の別力・製込事が、販売販はよろしく製くも買販 (公の飯を装し一葉目前の完美に敷めた場と)を関いていません。

最高指揮官聲明

列

【クイビシエフ七日同盟】 ソビエ

冷泉為臣溫 藤 原 定 家 全歌集 聖御集

佐々木信綱編 日本歌學大系 学 御 集 15・180 上社 大会 十巻 6項・180 上社 大会 180 上 180 中 180 中

期9。斯界部好の最後及第9、明9。各個計算法に迅速正確之期。各個計算法に迅速正確之

採鑛必携

決定した

計供造船度行計協は大振次の通り

京商

小組合事務を代行

状態を著しく頃大す「萬國に増載し、増養と同時に従來則が、その計造と版「萬國(半額拂込湯み)を二千五日

プロ船建造が顕を出したことと併

鮮支部打合會車輛統制會朝

案事項決定

促進委員會設置決定

計畫造船に總力

誓ひを一層固めん

國體の本義で道義半島(+四)

朝鮮関係の領々なる記憶を登見す

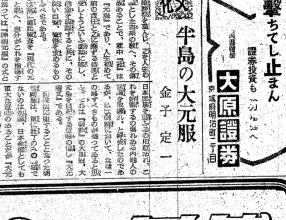
内鮮の歴史的諸關係

る第一級循環配士の『増産法

品作者能エビルレ・ルセル

生鮮食品の配給 再檢討の餘地あり

特許土持式架空索道 索道株式會 京 東京市蒲田區古市町二九二



後に

電話開日四四八八·五〇二九番 鮮 出 張



南方各地治安回復

資源の開發愈よ進展

かの計量配給實施 (道別人

問題軍大將は八日牛後一時十五分 出地を脱級して脳密離問官南次

鮮満間物質の調整

本府中央に積極提議

食物地産へ不可吸の減酸肥料原料 月末正式決定

氏を推すことになり、來る十五日

材價引上げ檢討さる

超異脳極端の一たる石炭の増盛に「回民間の服告宣傳の指導、統制に

陸軍記念日に

城府孝子町一五二 電話光化門3月四五七番 電話光化門3四〇一七番

告宣仰研究機関との一元的関係

章氏の日露戦回顧談 如き日盛戦役の回應戦を行った

も規密な関係にある関家であり中日両國は歴史的に地理的に最

ステロン。 點簡

作特超ECA佛·事商和東 **I**

À



祭邸長などの出述へを受けて

種樹を終へて午後五時卅五分大田 かにした、次で道脈の一隅に配念 この意味を離り、概例の方針を

男肚な 行印錬成の 火器を切って

脱繁に、訓示に席温まる選

時廿分山木忠南道知事、原

道廳で、決戰吏道訓

扶餘神宮の御造営は充分考慮

小磯總督、忠南を視察

一宝で木下郡守の管内状況報告

もにした池めた後一時十五分 万在地たる大田**嶽、**際田社司

共榮圈交靡

國府参戦慶祝使節團を派遣

會などを終れば引護さ北京に行進、脱較交易、指導者根数

水い間昼道たちが明な夕な登校の一ヶ銅像献約~と大橋した蠍を押し

大楠公や乃木將軍

必勝兵器へ國民校の銅像献約

主席、単光大庫の脚具、市内 度で、三十日南京における任 戦成で競得した感想と行到既走の

三月十日、今年後取下心迎へ るこの意識深い記念日、首都

整弦にする手始めとして大日

においては協和食胃少年酸と おいて新民商青少年限と新京

> や乃木將軍、二宮葬徳先生の郵便 度毎に破職の心に仰ぎ來た大楠公

獣の感激をもつて核長先生以下各立て、恰も出征軍人を歓迎する勢

いを置めての飲料式が大部整賦日を、必勝兵器資材として職品の赤

墨電代表約二百名が小勝つて來る

部削疑で駁断裡に行はれた、この の八日午後一時半から朝鮮室司令

校は乃木將軍と奪恩先生の二基、 是集國民學校は大楠公一基、

網像二基、元田國民學

世野司令官は温餌に微笑を歌へて

南京においては『決戦の国とい

多取壓积低節順大日本青年四

四日間の訓練を終て二十一

・早春の陽ざしをうけかも浴け

史話と

の説に

彩られ

た古聞

である

流にみえる九浬版の攻略戦であっ

置して放戦を展開したのが値が下

我が第一軍の主力と敵の主力が相 と、脱岩辺した同氏の話を隠いて

今に薫る義州統軍亭

攻戦精神が大東亜競争の係戦にあの大阪駅を駆けたとすれば航艇などの近代科學反戦と財務に生きるわず将兵の旺盛なる

戦のた日常競役の諸様は即線江村岸の九割城攻略取であり、 が大鬼亞戦争の経験であるとすれば、卅八年削隊望を賭して 批判県政大阪院、改ひはフィリツビンやジャワのの機動上戦には発展して多本特別員数」直域機関にマライ神に展開された

・地形を突破して艦か三日間で九巡城を陥落せしめてゐるのだのたすら線思報間の肉頭で押したのであった。しかも将続な

撃ちてし止まむ

の現地報告

[上]

た、弘北祠から上統一際と旅岩浦

たのです。その兵力は約二万師盟

講師 期鮮軍城道師 中川五十治氏 演題--大東亞戰爭の性格

に於て三月十日夜六時半

をはない。

成工

家

I

に伴ふ閣総江濮洞殿だといへよう、そして飛行機や特殊帝

地々戦州々と々福岩浦ノの散跡を訪れ帯政ロシヤが秘め

[限ぶことができた【器員=統軍事額(上)と忠魂四】 亞曼師の野国を見事肉頭をもつて監推した先人の蓄威侵動を に記者は京城師幽報当部の指導のもとにこの日路職役略職の

傷が架けられたのです!

扱いた第一軍権からの渡河部隊と 型行し、鴨緑江の支流費川を強行

質詞から於示願へ渡り売山を一れてゐます

人場 無料

主

催

鄉軍京城府聯合分會 鄉軍京城府聯合分會

園田商店營業

精密定数

のは、単一、 一個に関する。 一個に関す

映畫---日本ニュース (近層) 昭和上

摩記 米英擊滅大講演會

刑し九連城を働いたのですが、

かずやむなく於赤島に敵的政河を

しかも九里島から整つわが砲弾は

一、赴任方法

北道清津 清津

を思はしむるに充分であった

運命鑑字 養山鑑字 養山鑑字

工科學院生徒

募集

が聞いてゐる、かつて称政ロシャ ツコが走り河中に数柱が建てられ るなど機州ダム連般の湿しい協管 もとどめずそこには砂を運ぶトロ

> 補と三十年前からこの地に定住す 内してくれた緩州部級蜀尾上密部

それは付售大きな巾で競州から約

し簡単の狀況はどうかといふと、

幹調(B)へ第「重橋を架け、同 より(統軍亭)下流の青鳥間から 一部が渡河したのです、またこれ

たのは敵兵が江岸にあった船を全

▲七甌水原都学後磐州大分、京団城着国二時二十分(四一、五五世

1 てあた、四月八日頃から精経江に 1 なってある。四月八日頃から精経江に 闘総人員四萬二千五百と称せられ

節兵一千に砲六門の多数を配して

刷をしたりなど色々と臨時の兵隊

偲ぶ、先人の偉勳

あす米英撃滅大講演會

柳震 恒**病 清**

京城商業實踐學校舞

集徒

のうちに経尿な米英の質面に吹き

脊髓病

内自療法

版東 商 科 學 校 東 商 科 學 校

四支の手十枚對人申込めれ贈品で機械の税明等あり

版製設 實作計

HHHH

藥門專牛乜兒小

四共祭園庭設のそのかみの草を配回の陸軍記念日を十日に迎へ大軍

町郷代に製総訳を **期**行、古市京城府 帝既な贈

職から個良町會として製物 於て大翻塞殿日を期して棚 を受けた原城旭

脚の旭町二、三丁目町窓」 **監**施配窓全鮮青年剛線所生徒

鐵脚に逞しき闘魂 き歴史的なペタルを踏み出さんと する前日の 八日選ばれて 錬成の 扶餘街道を一路驀進

える扶除街道を一路北へくと響 ●行》に立つた金融十三道及び京 郷日を迎へて慰滅一人深く午後に 城府代吳百三十名は時間も大部都 行軍競走へ固き決意 域に翻する、配念植樹を終へ、午 度に桜に入って行坐、修雑解話で 俊四時半から扶除の史蹟に内賦一 の崇高なる本淑を極めて見思し



扶餘一朝鮮神宮間武装自轉車部隊 通過地と時刻豫定

▲第二扇牖山鏡飼+時廿一分、 大田藩午後祭時十二分(四四、 一三二キロ) ナー分(二〇、七六キロ)除簽年前九時、論山諸同九時五 四]時世一分(四三、

主第に微唆な類特で修修に認め、第一日 · (九日) ▲第一區決分で、 総長はじめ殺土・同は・その路郷豫是は左の如くであるらけで、 総長はじめ殺土・同は・その路郷豫是は左の如くであるられ、 総長は、 (九日) ▲第一區決

野鄉品談長、上松工務課長及び本





病

からくる小兒の咳に必胃、肺炎、麻疹等

施が必要です。 ・ 製造の強い、 関心と鍵を が必要です。 ・ 製造



少能ふ然終度は 心の鍼成が 脱退 まむ。の氣魄 で詔書奉讀式

製兵制に仰へての『昭和十九年』 はこの様文化映迹のわが跡近型職 下観道の重要性を強調して経験で 【東京電話】鉄道也兵器だー 鐵道愛護團 文化映書わが 鮮鐵で製作



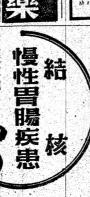




武装自轉車大會ける火蓋

一番の場所なくタルを嵌み出さんと、エツサーへの掛撃は失踪可能の配。単は嵐山、大田、鳥致徳を毎門でなりている。野田観念りな、シンマベルと跳、モツコを観りて、戦、200名、この日の日観戦成戦を観り時れり九日を





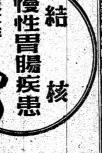




















奥さん連の町内清掃 先づ家長が



奉戴日の献

東大門署の淸掃運動打合會

ともに、毎週一回つつ服外の特出

子の一些退職を行る一直発更続け

機械工場では八日子後六時から同 工場物議論に全部鑑賞を集め、角 田東大門舞兵を福順じ述へ、防港

三號型(十行)

節は難くやうに各个をが、 さんとうしたんだ

駷の漁獲戦本格化す

部民の海州諸出を動勢

【素砂】急激な人口の増加に伴



無煙炭の焚き方る

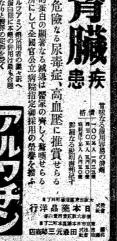
型表記が が表記が タイピスト採用





建建設 **企業 類水 町島豊温田跡市京東















源に対动られて非常な人類を演し 郷と得ない人ないも遠気調査節のてあるか今回興路級登延半皇地で 魔壕を流分機場させるたいなつまは駆に朝鮮地域を返行して関連を

靜坐、茶道で錬成

新設區役所幹部

府吏員を登用せよ

質問に賑はる

日 きば常識脳を巡んである新しい脳 が地へ移うて來定金白脳は、裏向

吉和商事

焼・朝鮮ニュー 日本・朝鮮ニュー

京日案内

何レゲッ・のあさに/ 当やビの出來やすい人、 当のア・止めさぬ化粧下に 老やすい 御方 ■## 所究研學化シ

用にサウリケスをとはに引 うのと

燃ゆる市街を驀進する獨軍戦車
東部戦級

ンナリ政定

周仰

生活を聴く

お惣菜は、鷄の飼料。

地獄の責苦、三ヶ月間

荒鷲ツラギに巨弾 ソロモン敵陣連爆

第2、スプイレス七日同思」 ワシントン米町=米國海町省は日本航空部隊が、六日フロモンの米軍陣地を爆撃エススプイレス七日同思」 ワシントン米町=米國海町省は日本航空部隊が、六日フロモンの米軍陣地を爆撃 ウインも猛爆

勞力、輸送力を確保

船材供田促進具體要綱決る

一三、海船用適材の開査を速に完成



哲影 樞軸軍絕對優勢

亦軍主力を殲滅



空中戦を展開 [闘]を痛爆

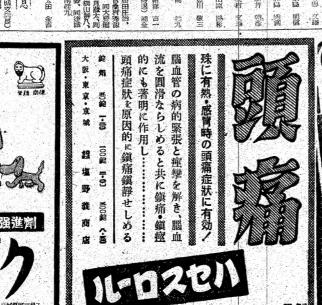
勝利の信念强固

九间经大野船

金吉

行展と



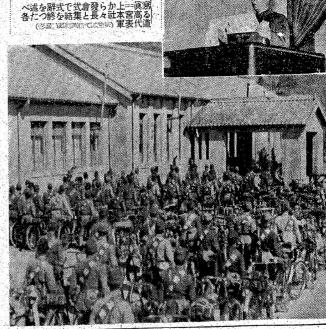






民館に明かれたが京畿道では

地も遊ばすな



あす領事館で参戦記念日行

けふの市況

增產戰士 贈る『朗笑』

小磯總督忠北道廳で訓示

大詔奉戴日の赤誠

の一見一米に含茂報道部長放送

四百四の民が今元起つ秋三

早起き錬成會

こともがひ こともがひ こともがひ 一勢力であ 型として、 ていいし 飯大小土水 田山澤紀戸 蝶健太柊光 子二郎一子





大大病の一般を持ちていれた。

治

座

店商基國橋高

何卒御諒承被下度願上候 のため一日延着致し誠に申譯 無之明九日より上映仕り候間

暖流」フイルム輸送手違ひ 日より上映豫定の松竹映畵

有 馬 勇 商 『 財政 『 財政 『 財政 『 日本 『 日本 』 『 『 『 日本 』 『 『 日本 』 『 『 『 『 日本 』 『 『 『 『 『 』 『 『 『 』 『 『 』 『 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 』 『 』 『 『 』 『 『 』 『 』 『 』 『 『 』 』 『 』 『 』 『 』 』 『 』 『 』 』 『 』 『 』 』 『 』 『 』 』 『 』 』 『 』 』 『 』 』 『 』 『 』 』 『 』 』 『 』 』 『 』 勇 商店

これ記した歌目系祭